



かつ もく

刮目

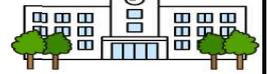
学校教育目標

校訓

刮目 ～刮目の生徒・刮目の教師～

～かけがえのない自己の人生に目を開き、たくましく自己実現していく生徒の育成～

自主・剛健・高雅



東金市立東金中学校 学校だより第49号

令和6年2月26日発行 文責：副校長 久我 和廣

3年生を送る会について

3月1日（金）5、6校時に本校体育館にて、生徒会主催の3年生を送る会を下記の内容で予定しています。



- ・開会行事 13:30～13:35
- ・1年生の発表 13:35～13:55
- ・2年生の発表 14:00～14:20
- ・スライド 14:30～14:40
- ・3年生合唱 14:45～14:55
- ・閉会行事 14:55～15:00

なお、3年生を送る会を観覧される保護者の方は、直接体育館正面玄関からお入りください。その際、スリッパをご持参ください。また、上記の日程はあくまでも予定です。

【卒業証書授与式曲・指揮者・伴奏者紹介】

卒業の歌「春に」
指揮者：竹内 真（3年1組）
伴奏者：山本 倖生（3年3組）

送別の歌「旅立ちの日に」
指揮者：岩瀬 睦（2年3組）
伴奏者：中村 彩乃（2年2組）

卒業生合唱「群青」
指揮者：高塚 柚奈（3年1組）
伴奏者：織本 美里（3年3組）



各種大会結果

☆バドミントン部
第35回千葉県中学校バドミントン1年生大会
個人戦
男子シングルス
鶴岡 想真（1年4組）1回戦惜敗
女子シングルス
富永 結衣（1年2組）1回戦惜敗

☆卓球部
東金市卓球選手権大会
中学生男子シングルス
準優勝 屋代 煌貴（2年1組）
3位 富塚 遥斗（2年1組）
3位 佐々木悠斗（2年3組）

中学生女子シングルス
優勝 中村 彩乃（2年2組）
準優勝 植松 鈴葉（2年4組）
3位 瀨川愛唯菜（2年3組）

中学生ダブルス
3位 瀨川愛唯菜（2年3組）
植松 鈴葉（2年4組）

☆ソフトボール部
第3回REIMEI CUP ソフトボール大会
予選トーナメント
1回戦 対 上志津中学校 7-2 勝利
2回戦 対 四街道北中学校 4-17 惜敗

2位トーナメント
1回戦 対 四街道西中学校 4-20 惜敗
2回戦 対 八街中央中学校・栄中学校合同 13-3 勝利

能登半島地震被災者支援

生徒会を中心に2月13日（火）～22日（木）の期間、能登半島地震被災者支援のための募金活動を実施しました。

募金額 119,519円

募金は、東金市福祉協議会を通じて、千葉県共同募金会から被災地へ寄付されます。生徒のみなさん、保護者の方々ご協力ありがとうございました。



子どもたちに贈る言葉の花束より

どんなときでも「できない」と
思ってはだめだ

櫻井 よしこ

櫻井さんはハワイ州立大学を卒業後、帰国して教師になろうと思ったがその機会がなく就職で悩んでいた時、アメリカの新聞社「クリスチャン・サイエンス・モニター」紙のエリザベス・ポンドさんの誘いで助手として東京支局で勤務することになった。仕事はあらゆる雑用からポンドさんの通訳、それに日本語が分からないポンドさんのために日本の新聞を読んで重要な記事をピックアップして要点を翻訳することだった。8時に出勤して10時までに6つの新聞を読んで記事の要約を英訳タイプするのは大変だった。時間内にできずに悩んだ櫻井さんは、2時間かかる通勤時間を利用して新聞を読むことにした。重要な記事はマジックペンで印をつけ、出勤してすぐタイプして自分の仕事を果たすることができるようになった。

この経験から櫻井さんは「給料を出す会社のために自分がどういう形で役立つかを考えなければならない。仕事を言いつけられたとき、どんなに難しそうなことも前向きに取り組むことが大切だ」という。「自分にはできないと思った瞬間に、本当にできなくなってしまう。たとえ、こなすだけの能力があったとしても、できないと判断したときには、本当にできなくなってしまうのです」という言葉を心に刻みたい。

佐藤 允彦先生の文より抜粋

以前は日本テレビのアナウンサーとして、現在はフリーとして活躍されている櫻井さんを生徒の皆さんもテレビで見たことがあるのではないだろうか。

「できない」「だめだ」と思うことは、日々生活していると往々にしてある。しかし、私も経験があるが「だめだ」と思うことで先に進まないことが多いように思う。人は気持ちで動くことも多いのではないか。子どもたちにもやる前からあきらめることなく、探求心をもっていろいろなことに挑戦してもらいたいと思う。

(平成25年度6月号3学年だよりから抜粋)